

### ◎ こだわり

デフォルメされた星で幻想感を演出しています。川に浮いていたり、富士山に刺さったりしている不思議な星です。

### ◎ こだわり

左上の桜。白色や影の部分は、桜の資料を見ながら何度も描きました。

### ◎ こだわり

下校中の私たちのカバンには、幻想の生き物のストラップがついています。

作品名・松田幻想大名行列



作品が完成するまで

Q 作成コンセプトは？

A 「松田町らしさ」をコンセプトに企画を開始させました。最初は、「交通の要衝(交わる場所)」のキーワードから始まり、過去と現在、現実と幻想などさまざまなものが交差する場所としての松田町を思い浮かべました。「下校する姿が大名行列みたい」と気付いたことで中心となるイメージができました。

Q 背景の夕焼け、桜のグラデーションがきれいですね、どうやって描いたのですか？

A 市販では売っていないチョークの色をたくさん作り(青色だけで5色など)、描きました。

Q 細かいところにもこだわりがたくさん詰まっていますね。

A この作品には、たくさんのお話が隠れています。じっくり鑑賞し、たくさん想像していただけると嬉しいです。



大名行列保存会長  
感想を伺いました。

長谷川さんに、作品を見ての

松田の歴史ある大名行列を「松田といえば」の題材として扱い、皆さんにしかできない発想で素晴らしい作品にしてくれて本当に嬉しく思います。また、作品をとおして松田町の名行列が全国に知られる機会をつくっていただき、本当にありがとうございます。

## 我ら松田人 17

松田町に在住している矢口祐斗さん、地域の安全・安心、人の命を第一に考えた行動が称賛され、座間市から表彰されました。矢口さんは現在、「救急救命士の国家資格を有し、消防士になること」を目指して専門学校に通っています。

9月8日(金)の夜、座間市内の商店街で手動のシャッターに挟まっている人を救助しました。矢口さんは、救急救命の知識を活かし負傷者に対しバイタルのチェックなどを行い、意識がもうろうとしていたため迅速に救急車を要請し、駆け付けた救急隊への情報共有を行いました。

助けた時の状況について矢口さんは、「自分がやるしかないと思い、行動した」と語ってくれました。

矢口さんが小学生の時、友達が車と接触事故に遭い、その際に対応してくれた救急救命士が格好良く見えたため、自分も救急救命士になりたいと夢見たそうです。また、

矢口さんは、現在最年少で松田町の消防団に所属されており、町のために日々、火災に備えた訓練、消火栓の点検などを行っています。

矢口さんのこれからの活躍に期待が膨らみます。

### 松田町長へ表彰の報告



11/7